

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
 【発行日】令和 3 年 11 月 11 日 (2021.11.11)

【公開番号】特開 2021-86768 (P2021-86768A)  
 【公開日】令和 3 年 6 月 3 日 (2021.6.3)  
 【年通号数】公開・登録公報 2021-025  
 【出願番号】特願 2019-215891 (P2019-215891)  
 【国際特許分類】

H 0 1 R 13/46 (2006.01)

H 0 1 R 13/516 (2006.01)

H 0 1 R 12/71 (2011.01)

【 F I 】

H 0 1 R 13/46 B

H 0 1 R 13/516

H 0 1 R 12/71

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 29 日 (2021.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 4 8 】

本例のめっき層 3 0 1 は、メス端子 2 0 のめっき層 2 0 1 と同様の構成である。即ち、めっき層 3 0 1 は、純錫からなる表層 3 0 2 と、錫と銅とを含む合金からなる内層 3 0 3 とを備え、上記合金が表層 3 0 2 から部分的に露出されている。この場合、めっき層 3 0 1 において、表層 3 0 2 と内層 3 0 3 との界面は直線状ではなく、図 1 4 に例示するように凹凸である。オス端子 3 0 のめっき層 3 0 1 とメス端子 2 0 のめっき層 2 0 1 とが同じ構成材料であり、かつ上述の特定の二層構造であることで、オス端子 3 0 をメス端子 2 0 に挿入する際に、オス端子 3 0 が滑り易い。そのため、挿入作業が行い易い。なお、基材 3 0 0 及びめっき層 3 0 1 の詳細は、メス端子 2 0 の《構成材料》の項を参照するとよい。